

白 監 査 第 21 号  
令 和 3 年 8 月 31 日

白老町長 戸 田 安 彦 様

白老町監査委員 菅 原 道 幸



白老町監査委員 及 川 保



令和2年度白老町国民健康保険病院事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和2年度白老町国民健康保険病院事業会計について審査の結果、別紙のとおり意見書提出いたします。

令和2年度  
白老町国民健康保険病院事業会計  
決算審査意見書

白老町監査委員

## 目 次

第 1	審査の対象	.....	1
第 2	審査の期間	.....	I
第 3	審査の方法	.....	1
第 4	審査の結果及び意見	.....	1
第 5	審査の内容	.....	2
1	事業の概要	.....	2
	(1) 患者数	.....	2
	(2) 諸業務実績	.....	2・3
2	予算の執行状況	.....	4
	(1) 収益的収入及び支出	.....	4・5
	(2) 資本的収入及び支出	.....	5
3	経営成績	.....	6
	(1) 経常収益の内訳	.....	7・8
	(2) 経常費用の内訳	.....	8・9
4	財政状態	.....	10
	(1) 資産	.....	10
	(2) 負債	.....	10・11
	(3) 資本	.....	11
5	キャッシュ・フロー計算書	.....	11
6	経営分析と財務分析	.....	12
	(1) 経営内容分析	.....	12
	(2) 財務分析	.....	12・13
別表			
	別表 1 入院及び外来患者数の推移	.....	14
	別表 2 比較損益計算書	.....	15
	別表 3 比較貸借対照表	.....	16
	別表 4 比較キャッシュ・フロー計算書	.....	17
	別表 5 比較経営分析表	.....	18

# 令和2年度白老町国民健康保険病院事業会計決算審査意見書

## 第1. 審査の対象

令和2年度白老町国民健康保険病院事業会計決算

## 第2. 審査の期間

令和3年7月21日から8月27日まで間

## 第3. 審査の方法

決算の審査にあたっては、町長から審査に付された決算書及び財務諸表並びに付属書類が適法に作成され、事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているか否かを検証するため、関係諸帳簿等を照合確認するとともに、関係職員の説明を求め、計数の正否、法令上の適否について審査を行った。

## 第4. 審査の結果及び意見

審査に付された令和2年度白老町立国民健康保険病院事業会計決算報告書、財務諸表及び付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は正確であり、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められる。

しかし、本病院の経営環境は依然と厳しく、今期の決算は前年度道からの交付金、約2,500万円の未収金額を計上したことなどにより黒字決算となっているが、常勤医師の不足やコロナウイルスの感染症の影響などにより、利用者数は低位に止まり、入院収益は大幅な減少となっています。

また、一般会計からの繰入金も増加しており、損益構造としては決して良好とは言えない状況にあります。

今後も、新たな経営改善計画のもと、一層の経営改善が望まれるところであります。

## 第5. 審査の内容

### 1. 事業の概要

#### (1) 患者数

年間患者数 (単位：人・%)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	増減率
入 院	3,924	6,397	△2,473	△38.7
外 来	23,950	27,340	△3,390	△12.4
合 計	27,874	33,737	△5,863	△17.4

患者数は、入院が3,924人、外来が23,950人となり、前年度と比較して入院で2,473人(38.7%)減少、外来で3,390人(12.4%)減少している。

日平均患者数 (単位：人・%)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	増減率
入 院	10.8	17.5	△6.7	△38.3
外 来	98.7	113.5	△14.8	△13.0

入院及び外来の患者数の推移は別表1のとおりである。

#### (2) 諸業務実績

令和元年度の諸業務の実績は次のとおりである。

項 目		令和2年度	令和元年度	平成30年度
病床数（実稼働病床数）		58（50）床	58（50）床	58（50）床
病床利用率（実稼働病床）		18.5% （21.5）%	30.2% （35.0）%	32.4% （37.6）%
外来入院患者比率		610.3%	427.4%	409.4%
患者1人1日当費用		29,417円	23,377円	21,888円
患者1人1日当収益		29,591円	21,954円	19,921円
患者1人1日当医業費用		29,177円	23,277円	21,833円
患者1人1日当医業収益		10,923円	11,260円	11,190円
職 員 数	医師	1人	2人	3人
	医師（会計年度任用職員）	3人	2（嘱託）人	1（嘱託）人
	薬剤師（会計年度任用職員）	2人	1（嘱託）人	0人
	医療技師	5人	6人	5人
	医療技師（会計年度任用職員）	3人	1（嘱託）人	1（嘱託）人
	看護師	22人	22人	22人
	看護師（会計年度任用職員）	15人	0人	0人
	事務職員	2人	2人	2人
	事務職員（会計年度任用職員）	1人	0人	0人
	その他職員	0人	3（嘱託）人	3（嘱託）人
	合計	54人	39人	37人

（注 記）

病床利用率：年延入院患者数 3,924 人 ÷ 年延病床数 58 床（50 床） × 100

外来入院患者比率：年延外来患者数 23,950 人 ÷ 年延入院患者数 3,924 人 × 100

患者1人1日当費用：経常費用 819,972,272 円 ÷ 年延患者数 27,874 人

患者1人1日当収益：経常収益 824,817,106 円 ÷ 年延患者数 27,874 人

患者1人1日当医業費用：医業費用 813,287,872 円 ÷ 年延患者数 27,874 人、

患者1人1日当医業収益：医業収益 304,457,427 円 ÷ 年延患者数 27,874 人

## 2. 予算の執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### 《収入》

(単位：円、%)

科目	予算額	決算額	予算額との比較	収入率
病院事業収益	1,074,526,000	824,817,106	△249,708,894	76.8
医業収益	582,359,000	304,457,427	△277,901,573	52.3
医業外収益	492,166,000	494,930,679	2,764,679	100.6
特別利益	1,000	25,429,000	25,428,000	2,542,900

#### 《支出》

(単位：円、%)

区分	予算額	決算額	不用額	執行率
病院事業費用	927,004,000	819,972,272	107,031,728	88.5
医業費用	923,501,000	813,287,872	110,213,128	88.1
医業外費用	2,448,000	3,907,200	△1,459,200	159.6
特別損失	955,000	2,777,200	△1,822,200	290.8
予備費	100,000	0	100,000	0.0

収益的収入決算額は8億2,481万7,106円で、その内訳は、医業収益3億445万7,427円、医業外収益4億9,493万679円、特別利益2,542万9千円であり、予算額10億7,452万6千円に対し、76.8%の収入率となっている。

なお、特別利益は、令和元年度に実施した医療機器整備のアイヌ総合政策交付金に係る前年度未収金である。

次に、収益的支出決算額は8億1,997万2,272円で、その内訳は、医業費用8億1,328万7,872円、医業外費用390万7,200円、特別損失277万7,200円であり、予算額9億2,700万4千円に対し、88.5%の執行率で、1億703万

1,728 円の不用額となっている。

なお、特別損失は令和元年度アイヌ総合政策交付金の減額で、医師の確保ができなかったことによる人件費分である。

## (2) 資本的収入及び支出

### 《収入》

(単位：円、%)

科 目	予算額	決算額	予算額との比較	収入率
資本的収入	46,740,000	17,900,000	△28,840,000	38.3
出資金	10,040,000	3,000,000	△7,040,000	29.9
補助金	26,700,000	4,900,000	△21,800,000	18.4
寄付金	10,000,000	10,000,000	0	100

### 《支出》

(単位：円、%)

科 目	予算額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	46,740,000	39,708,100	7,031,900	85.0
建設改良費	46,740,000	39,708,100	7,031,900	85.0

資本的収入決算額は1,790 万円で、その内訳は、出資金で予算額 300 万円、補助金 4,900 万円、寄付金 1,000 万円であり、予算額 4,674 万円に対し、38.3%の収入率となっている。

資本的支出決算額は3,970 万 8,100 円で、その内訳は、建設改良費であり、予算額 4,674 万円に対し、85.0%の執行率で 703 万 1,900 円の不用額となっている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 2,180 万 8,100 円は、過年度分損益勘定留保資金で全額補てんしている。



3. 経営成績（比較損益計算書は別表2のとおり）

（単位：円、％）

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	増減率
経常収益	799,388,106	740,676,128	58,711,978	7.9
医業収益	304,457,427	379,867,305	△75,409,878	△19.9
医業外収益	494,930,679	360,808,823	134,121,856	37.2
経常費用	817,195,072	788,685,412	28,509,660	3.6
医業費用	813,287,872	785,300,212	27,987,660	3.6
医業外費用	3,907,200	3,385,200	522,000	15.4
経常利益	△17,806,966	△48,009,284	30,202,318	△62.9
特別損益	22,651,800	0	22,651,800	100
特別利益	25,429,000	0	25,429,000	100
特別損失	2,777,200	0	2,777,200	100
当年度純利益	4,844,834	△48,009,284	52,854,118	△110.1

本年度の経常収益は、7億9,938万8,106円となり、経常費用が、8億1,719万5,072円で、差引当年度の経常利益は1,780万6,966円の経常損失となっているが、前年度交付金の収入増により484万4,834円の当年度純利益が生じている。

(1) 経常収益の内訳

(単位：円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	増減率
医業収益	304,457,427	379,867,305	△75,409,878	△19.9
入院収益	95,579,546	155,491,701	△59,912,155	△38.5
外来収益	164,368,622	176,780,129	△12,411,507	△7.0
その他医業収益	44,509,259	47,595,475	△3,086,216	△6.5
医業外収益	494,930,679	360,808,823	134,121,856	37.2
受取利息及び配当金	0	0	0	0.0
他会計補助金	462,604,000	336,192,000	126,412,000	37.6
患者外給食収益	2,488,860	2,354,720	134,140	5.7
長期前受金戻入	9,594,755	453,546	9,141,209	2015.5
その他医業外収益	20,243,064	21,808,557	△1,565,493	△7.2

経常収益の内訳については、医業収益3億445万7,427円、医業外収益4億9,493万679円であり、前年度と比較して、医業収益が7,540万9,878円(19.9%)減少、医業外収益が1億3,412万1,856円(37.2%)増加している。

医業収益の内訳は、入院収益9,557万9,546円、外来収益1億6,436万8,622円、その他の医業収益4,450万9,259円である。

医業外収益の内訳は、他会計補助金4億6,260万4千円、患者外給食収益

248万8,860円、長期前受金戻入959万4,755円、その他医業外収益2,024万3,064円である。

(2) 経常費用の内訳

(単位：円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	増減率
医業費用	813,287,872	785,300,212	27,987,660	3.6
給与費	450,004,403	435,434,339	14,570,064	3.4
材料費	43,004,427	50,181,609	△7,177,182	△14.3
経費	300,247,057	283,394,079	16,852,978	6.0
(内、報償費)	(78,727,440)	(85,355,972)	(△6,628,532)	(△7.8)
減価償却費	17,367,713	15,132,715	2,234,998	14.8
資産減耗費	2,204,768	551,442	1,653,326	299.8
研究研修費	459,504	606,028	△146,524	△24.2
医業外費用	3,907,200	3,385,200	522,000	15.4
支払利息及び企業債取扱諸費	0	0	0	0.0
雑損失	0	0	0	0.0
消費税	3,907,200	3,385,200	522,000	15.4

経常費用の内訳については、医業費用 8 億 1,328 万 7,872 円、医業外費用 390 万 7,200 円であり、前年度と比較して医業費用 2,798 万 7,660 円(3.6%)の増加、医業外費用が 52 万 2 千円(15.4%)増加している。

医業費用の内訳は、給与費 4 億 5,000 万 4,403 円、材料費 4,300 万 4,427 円、経費 3 億 24 万 7,057 円、減価償却費 1,736 万 7,713 円、資産減耗費 220 万 4,768 円、研究研修費 45 万 9,504 円である。

医業外費用の内訳は、消費税 390 万 7,200 円である。

また、経費に含まれる報償費(出張医師に係る人件費)を給与に組み替えると、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	比較増減	増減率
医業費用	813,287,872	785,300,212	27,987,660	3.6
給与費	528,731,843	520,790,311	7,941,532	1.5
材料費	43,004,427	50,181,609	△7,177,182	△14.3
経費	221,519,617	198,038,107	23,481,510	11.9
減価償却費	17,367,713	15,132,715	2,234,998	14.8
資産減耗費	2,204,768	551,442	1,653,326	299.8
研究研修費	459,504	606,028	△146,524	△24.2

4. 財政状態 (比較貸借対照表は別表3のとおり)

(1) 資産

(単位：円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	増減率
固定資産	235,903,474	224,145,087	11,758,387	5.2
流動資産	144,167,959	110,693,448	33,474,511	30.2
資産合計	380,071,433	334,838,535	45,232,898	13.5

資産総額は、3億8,007万1,433円で、前年度と比較すると4,523万2,898円(13.5%)増加している。

資産総額の内訳は、固定資産が2億3,590万3,474円で、前年度と比較すると1,175万8,387円(5.2%)の増加、流動資産が1億4,416万7,959円で、前年度と比較して3,347万4,511円(30.2%)増加している。

(2) 負債

(単位：円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	増減率
固定負債	4,259,736	8,181,432	△3,921,696	△47.9
流動負債	136,961,693	94,334,587	42,627,106	45.2
繰延収益	51,933,957	32,113,612	19,820,345	61.7
負債合計	193,155,386	134,629,631	58,525,755	43.5

負債総額は1億9,315万5,386円で、前年度と比較すると5,852万5,755円(43.5%)増加している。

負債総額の内訳は、固定負債が425万9,736円で、前年度と比較すると392万1,696円(47.9%)の減少、流動負債が1億3,696万1,693円で、前年度と比較して4,262万7,106円(45.2%)の増加、繰延収益が5,193万3,957円で、前年度と比較して1,982万345円(61.7%)増加している。

### (3) 資 本

(単位：円、%)

区 分	令和2年度	平成元年度	比較増減	増減率
資本金	1,241,582,534	1,241,582,534	0	0.0
剰余金	△1,054,666,487	△1,041,373,630	△13,292,857	1.3
資本合計	186,916,047	200,208,904	△13,292,857	△6.6

資本総額は1億8,691万6,047円で、前年度と比較すると1,329万2,857円(6.6%)減少しており、当年度の未処理欠損金は10億4,599万1,796円となっている。

### 5. キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書の状況は、期首資金残高5,960万1,696円に対して、資金期末残高は5,942万7,299円で、資金増加額が前年度と比較して17万4,397円増加している。

(比較キャッシュ・フロー計算書は別紙4のとおり)

## 6. 経営分析と財務分析（比較経営分析表は別紙5のとおり）

本年度における企業経営の健全性、効率性等を評価する主な指標の状況は、次のとおりである。

### （1）経営内容分析

#### ① 病床利用率（稼働病床数）

本病院の稼働病床数に対する稼働割合で、施設が有効に活用されているか判断する指標で、本年度は21.5%で前年度と比較して13.5%低下している。

#### ② 入院患者1人1日当たりの収益

入院患者への診療及び療養に係る収益について、入院患者1人1日当たりの平均単価を示す指標であり、本年度は2万4,358円で前年度と比較して51円向上している。

#### ③ 外来患者1人1日当たりの収益

外来患者への診療及び療養に係る収益について、外来患者1人1日当たりの平均単価を示す指標であり、本年度は6,863円で前年度と比較して397円向上している。

#### ④ 給与費対医業収益比率（報償費含む）

医業収益に対する給与費の割合で、本年度は173.7%で前年度と比較して36.6%増加している。

### （2）財務分析

#### ① 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合で、本年度は100.6%で前年度と比較して6.6%向上している。（この数値が100%未満の場合、単年度の収支は赤字）

#### ② 医業収支比率

医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合で、医業費用が医業収益でどの程度賄われているかを示すものであり、本年度は37.4%、前年度と比較して11.0%低下している。（100%未満は損失）

③ 自己資本構成比率

総資本に占める自己資本の割合で、財政状況の長期的な安全性を見ていく指標であり、本年度は62.8%で前年度と比較して6.6%低下している。

④ 流動比率

1年以内に支払うべき負債（流動負債）に対する1年以内に現金化できる資産（流動資産）の割合で、この数値は100%以上であることが必要であり、本年度は105.3%で前年度と比較して12.1%低下している。

⑤ 累積欠損金比率

医業収益に占める累積欠損金の割合で、累積欠損金が発生していないことが必要であり、本年度は343.6%で前年度と比較して66.9%増加している。



別表 1

## 入院及び外来患者数の推移

(入院患者)

(単位：人)

区分 科別	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	延患者数	1日平均	前年度比	延患者数	1日平均	前年度比	延患者数	1日平均	前年度比	延患者数	1日平均	前年度比
内科	8,386	23.0	△ 1,452	6,856	18.8	△ 1,530	6,397	17.5	△ 459	3,924	10.8	△ 2,473
外科	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
小児科	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
合計	8,386	23.0	△ 1,452	6,856	18.8	△ 1,530	6,397	17.5	△ 459	3,924	10.8	△ 2,473

(外来患者)

(単位：人)

区分 科別	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	延患者数	1日平均	前年度比	延患者数	1日平均	前年度比	延患者数	1日平均	前年度比	延患者数	1日平均	前年度比
内科	19,189	78.6	△ 349	18,547	76.0	△ 642	18,469	76.6	△ 78	16,070	66.1	△ 2,399
外科	8,269	33.9	△ 395	8,125	33.3	△ 144	7,625	31.7	△ 500	7,320	30.1	△ 305
小児科	1,503	6.2	△ 13	1,396	5.7	△ 107	1,246	5.2	△ 150	560	2.5	△ 686
合計	28,961	118.7	△ 757	28,068	115.0	△ 893	27,340	113.5	△ 728	23,950	98.7	△ 3,390

別表 2

## 比較損益計算書

(単位：円、%)

科	目	令和2年度		前年度比	令和元年度		前年度比	増減額
		金	額		金	額		
經常収益	(ア)	799,388,106		7.9	740,676,128		6.5	58,711,978
医業収益		304,457,427		△ 19.9	379,867,305		△ 2.8	△ 75,409,878
入院収益		95,579,546		△ 38.5	155,491,701		△ 5.1	△ 59,912,155
外来収益		164,368,622		△ 7.0	176,780,129		△ 0.9	△ 12,411,507
その他医業収益		44,509,259		△ 6.5	47,595,475		△ 2.0	△ 3,086,216
医業外収益		494,930,679		37.2	360,808,823		18.3	134,121,856
受取利息及び配当金		0		0.0	0		0.0	0
他会計補助金		462,604,000		37.6	336,192,000		19.3	126,412,000
患者外給食収益		2,488,860		5.7	2,354,720		0.2	134,140
長期前受金戻入		9,594,755		2015.5	453,546		0.0	9,141,209
その他医業外収益		20,243,064		△ 7.2	21,808,557		7.6	△ 1,565,493
經常費用	(イ)	817,195,072		3.6	788,685,412		3.2	28,509,660
医業費用		813,287,872		3.6	785,300,212		3.0	27,987,660
給与	費	450,004,403		3.3	435,434,339		0.3	14,570,064
材料	費	43,004,427		△ 14.3	50,181,609		△ 5.4	△ 7,177,182
経費		300,247,057		5.9	283,394,079		10.3	16,852,978
減価償却費		17,367,713		14.8	15,132,715		△ 13.3	2,234,998
資産減耗費		2,204,768		299.8	551,442		43.4	1,653,326
研究研修費		459,504		△ 24.2	606,028		4.4	△ 146,524
医業外費用		3,907,200		15.4	3,385,200		78.1	522,000
支払利息及び企業債取扱諸費		0		0.0	0		0.0	0
雑損失		0		0.0	0		0.0	0
消費税		3,907,200		15.4	3,385,200		78.1	522,000
(經常利益 (ア) - (イ))		△ 17,806,966		△ 62.9	△ 48,009,284		△ 30.1	30,202,318
特別利益	(ロ)	22,651,800		0.0	0		0.0	22,651,800
特別利益		25,429,000		0.0	0		0.0	25,429,000
過年度損益修正益		25,429,000		0.0	0		0.0	25,429,000
特別損失		2,777,200		0.0	0		0.0	2,777,200
過年度損益修正損		2,777,200		0.0	0		0.0	2,777,200
当年度純利益 (ア)-(イ)+(ロ)		4,844,834		△ 110.1	△ 48,009,284		△ 30.1	52,854,118

別表 3

比較貸借対照表

(単位：円、%)

区分 科目	借				方				区分				貸				方				
	令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度		
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	
固定資産	235,903,474	5.2	224,145,087	8.5	11,758,387																
有形固定資産	235,661,940	5.3	223,903,553	8.5	11,758,387																
建物	174,017,544	△ 0.2	174,379,048	△ 4.5	△ 361,504																
構築物	690,156	0.0	690,156	0.0	0																
器具備品	50,062,808	49.1	33,565,557	180.8	16,497,251																
リース資産	8,181,432	△ 41.8	14,058,792	26.7	△ 5,877,360																
建設仮勘定	2,710,000	124.0	1,210,000	0.0	1,500,000																
無形固定資産	241,534	0.0	241,534	0.0	0																
電話加入権	241,534	0.0	241,534	0.0	0																
流動資産	144,167,959	30.2	110,693,448	△ 12.6	33,474,511																
現金預金	59,427,299	△ 0.3	59,601,696	△ 7.9	△ 174,397																
未収金	73,014,283	62.6	44,903,308	△ 20.1	28,110,975																
貯蔵品	11,486,377	93.1	5,948,444	8.6	5,537,933																
その他流動資産	240,000	0.0	240,000	0.0	0																
の																					
資本																					
剰余金																					
資本剰余金	△ 16,274,691	△ 973.6	1,863,000	0.0	△ 18,137,691																
国・道補助金	△ 21,152,691	0.0	0	0.0	△ 21,152,691																
寄付金	3,960,000	296.0	1,000,000	0.0	2,960,000																
その他資本剰余金	918,000	6.4	863,000	0.0	55,000																
利益剰余金	△ 1,038,391,796	△ 0.5	△ 1,043,236,630	4.8	4,844,834																
減債積立金	7,600,000	0.0	7,600,000	0.0	0																
当年度未処理欠損金	1,045,991,796	△ 0.5	1,050,836,630	4.8	△ 4,844,834																
(うち当年度純利益)	(4,844,834)	(△110.1)	(△48,009,284)	(△ 30.1)	(52,854,118)																
資本合計	186,916,047	△ 6.6	200,208,904	△ 19.3	△ 13,292,857																
負債・資本合計	380,071,433	13.5	334,838,535	△ 18.7	45,232,898																
資産合計	380,071,433		380,071,433		380,071,433																

## 別表 4

## 比較キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純損失	4,844,834	△ 48,009,284	△ 52,854,118
減価償却費	13,446,017	8,265,643	△ 5,180,374
資産減耗費	2,204,768	551,442	△ 1,653,326
賞与引当金の増加・減少	3,788,000	1,324,000	△ 2,464,000
長期前受金戻入額	△ 9,594,755	△ 453,546	9,141,209
支払利息及び企業債取扱諸費	0	0	0
未収金の増減額 (△増加)	△ 25,940,566	9,134,509	35,075,075
未払金の増減額 (△減少)	△ 7,952,319	24,686,776	32,639,095
たな卸資産の減少額 (△は増加)	△ 5,537,933	△ 473,228	5,064,705
その他流動負債の減少額 (△は減少)	△ 50,487,749	△ 150,027	50,337,722
小 計	△ 75,229,703	△ 5,123,715	70,105,988
支払利息及び企業債取扱諸費	0	0	0
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 75,229,703	△ 5,123,715	70,105,988
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	39,708,100	0	△ 39,708,100
国庫補助金等による収入	32,696,000	0	△ 32,696,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	72,404,100	0	△ 72,404,100
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	0	0	0
他会計からの出資金による収入	3,000,000	0	△ 3,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,000,000	0	△ 3,000,000
資金増加額 (又は減少額)	174,397	△ 5,123,715	△ 5,298,112
期首資金残高	59,601,696	126,166,618	66,564,922
資金期末残高	59,776,093	121,042,903	61,266,810

## 別表 5

## 比較経営分析表

## 経営内容分析

項目	算式	令和2年度	令和元年度	増減
病床利用率（許可病床数：58床）	$\frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{年間延病床数}} \times 100$	18.5%	30.2%	△11.7%
病床利用率（稼働病床数：50床）	$\frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{年間延病床数（稼働病床数）}} \times 100$	21.5%	35.0%	△13.5%
1日平均患者数	入院 $\frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{年間日数}}$	10.8人	17.5人	△6.7人
	外来 $\frac{\text{年間延外来患者数}}{\text{年間診療日数}}$	98.6人	113.5人	△14.9人
入院患者1人1日当たりの収益	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年間延入院患者数}}$	24,358円	24,307円	51円
外来患者1人1日当たりの収益	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年間延外来患者数}}$	6,863円	6,466円	397円
給与費対医業収益比率	$\frac{\text{給与費（報償費含む）}}{\text{医業収益}} \times 100$	173.7%	137.1%	36.6%

## 財務分析

項目	算式	令和2年度	令和元年度	増減
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	100.6%	94.0%	6.6%
医業収支比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	37.4%	48.4%	△11.0%
自己資本構成比率	$\frac{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	62.8%	69.4%	△6.6%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	105.3%	117.4%	△12.1%
累積欠損金比率	$\frac{\text{累積欠損金（当年度未処理欠損金）}}{\text{医業収益}} \times 100$	343.6%	276.7%	66.9%